

中央アフリカ共和国概要



中央アフリカ共和国はアフリカ大陸の中心部に位置し、国土面積は62万3千平方キロメートルです。国は20の県、80の郡、179の自治体から構成されます。

2020年の推定人口は570万人で、毎年の平均人口増加率は2.5%です。人口の大半(47%)を15～35歳の若年層が占めます。女性は総人口の50%以上です。

気候は赤道型で雨量は多く北部から南北まで降雨量は年平均800から1800ミリメートル、局地的な最高雨量は南部で2000ミリメートルです。

潜在的経済力として、中央アフリカ共和国には250万頭を超える牛の群れと1600ヘクタールに及ぶ牧草地があり、内900万ヘクタールが利用されています。1500ヘクタールの土地が耕作可能で、内約1%が開発されています。470以上の鉱業地点があり、

- 恒常的森林地域(開発のために民間部門に移管)

- 非恒常的森林地域(国の保護区)

という2種類の森林地域があります。

540ヘクタールに及ぶ密生森林湿地帯が国の南部、南西部、東部に位置していて、内350ヘクタールが整地中です。また、5つの国立公園によって観光の機会が提供されており、なかでも1つの国立公園はユネスコ生物圏保護区と水力エネルギー生産のための水路という2つの側面を備えています。



©Expo 2025

中央アフリカ共和国館



© Japan Association for the 2025 World Exposition. All rights reserved.

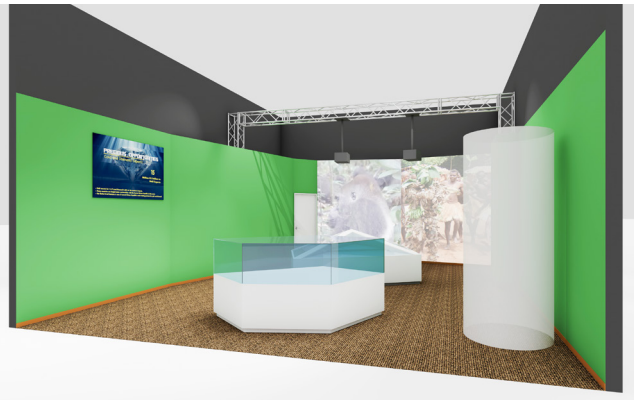
The text and images such as photos and illustrations are used under an agreement with Central African Republic.

展示コンセプト

2025年大阪・関西万博の一環として、中央アフリカ共和国は「生命を救い、地上の生命に息吹を与える」と題するプロジェクトを発表します。この2つのサブテーマの組み合わせにより、以下の3種類の構成要素が明らかになりました。

- C1: 我が国の素晴らしく豊かな自然環境の紹介
- C2: 我が国の森林の生物多様性とその保全活動
- 2-A: 我が国の製品
- 2-B: 我が国の森林の生物多様性
- 2-C: エコツーリズムの旅行先としての魅力
- C3: 持続可能な未来のための我が国森林の救済
- 3-A: 森林枯渇
- 3-B: 森林再生の取組

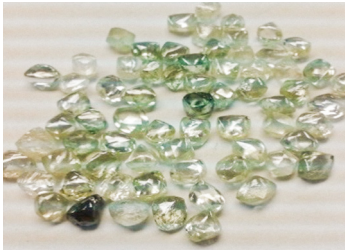
これら3種類の構成要素は、SDGs(持続的開発目標)第15目標及び第17目標の実現に該当します。



中央アフリカ共和国への投資促進

中央アフリカ共和国への投資促進は、外国投資と国内投資の双方に刺激を与えるために規制改革と制度改革の広範なプログラムに組み込まれました。これらの改革の中には、中央アフリカ共和国で設立された企業に税制・関税分野やその他

- 以下の該当分野で優遇措置を与える投資憲章の見直しがあります。
- 買付事業及び再販事業
 - 森林業以外での森林開拓
 - 半機械化鉱業および鉱業以外での鉱山開拓
 - 分野別の法律を勘案した観光事業
 - コミュニケーション事業
 - レンタル事業
 - 宝くじやギャンブル事業
 - 単純警備会社



特定分野における優遇措置

中央アフリカ共和国は、投資憲章に加えて鉱物資源の潜在性に満ちた鉱業部門、国の北部・西部・南部で油田が発見されている石油部門、国の経済で重要な地位を占める森林業・漁業・狩猟部門への投資を希望する国内外の企業に相当規模の優遇措置を付与しています。また、この優遇措置は手工業部門に対しても付与されています。さらに中小企業においては、中小企業法を通じた特定の協定を享受することができます。



中央アフリカ共和国で起業するには？

中央アフリカ共和国の事業環境改善プロセスに関連する改革の一環として、企業設立の手續と関連経費が軽減されました。現在、中央アフリカ共和国で起業設立に要する時間は48時間です。この結果、税制登録番号の取得費用は私人の場合は7ドル未満、法人の場合は14ドル、営業・動産信用登録簿への登録費用は私人の場合30ドル、法人の場合60ドルです。



今後の展望

今回の2025年大阪・関西万博の展望として、中央アフリカ共和国館は協力プロジェクトを通じて、複数の分野に専門性を有する日本の投資家やパートナーの方々が我が国に投資・進出するようにその関心を最大限引き出す所存です。また日本との協力関係を一層強化・再活性化し、経済・貿易・文化協力の機会の枠組みの中で中央アフリカ国民の日本への大規模な進出を働きかけます。

